

にいじまむら

議会だより

第88号

令和元年6月



新島伝統芸能 獅子木遣り練習風景（新町）

2019年第1回定例会（3月）

表紙は語る

表紙の写真は、東京都の無形文化財に指定されている、獅子木遣りの練習風景である。近年獅子木遣りを見たことがなく、見たいと思っている人も多くいるのではないだろうか。今年は、天皇陛下の即位の年となり、師走祭りの時に獅子を出すことが決まっている。

獅子にかかわる我々は、この伝統芸能を次の世代、後の世代に引き継いでいかなければ、新島の獅子木遣りは廃れてしまうのではないかと心配するところである。保存会から、「興味のある方は、是非一度練習を見学に来てみてください。」との事でした。文責：青沼ひろし

もくじ

新年度事業特集	……	2
一般質問	……	4
常任委員会より	……	10
議長の目らんど	……	11
編集後記	……	12



特集

新年度の注目事業を検証する！

予算委員会・管内視察・一般質問等で検証した今年度の注目事業を紹介します。

31mにもなるとされています。住民の被害が少しでも無くなる様に、昨年度避難階段が完成しました。

今年度は、新島港南側と

消防費地域防災対策費用

予算総額3億417万円のうち、津波避難路を検証します。南海トラフ巨大地震による大津波が最悪

式根島港(足付)の津波避難路整備工事および湯の浜露天温泉の津波避難路実施設計となります。以前に全戸配布されている津波避難マップと合わせた確認が重要です。

島外医療機関受診に係る交通費助成事業

平成31年1月から開始した、島外の医療機関を受診する島民への交通費助成事業。予算は500万円で50件×8千円×12ヶ月を想定しています。

現在の対象者は、65歳以上の方、19歳未満の方などで、付き添いの方にも助成されます。

1月から3月の交通費助成利用状況は、すでに月50人を超えるペース

1月	33件
2月	47件
3月	97件

いく予定です。事業の進捗状況、住民の意見等を検証してより良い制度になるよう検討します。

クリエートセンターの設置目的は、地域における人材育成、産業の活性化、観光振興などとなっています。昨今の働き方改革や地方創生を踏まえ、当村での創業拠点や、本社と離れた遠隔地での『サテライトオフィス』としての活用も期待できます。入居希望者は書類審査と面接を実施した上で決定されますが、このたび従来のおフィス1・2に加え、おフィス3を島外企業(担当者は新島在住)がテレワーク拠点として借り上げて、4月より活動を開始しています。

21クリエートセンター条例改正

新島村21クリエートセンターに現在2室ある多目的室をオフィスに改める条例改正が全会一致で可決されました。平成29年度と平成30年度2月末



▲にしき乗り場前の津波避難路急勾配のため非常時の昇り専用。下りに使わないよう注意喚起/仕切りを検討予定



式根島高齢者福祉施設整備事業

綾とおる議員、

前田泉議員の一般質問に対する回答に基づき紹介します。

式根島を取り巻く高齢者の状況の変化、動向を踏まえ、地域にあった福祉サービスの向上を図るため検討を重ねた結果、今年度の予算3億368万円で令和2年度に開設となります。

本施設は、地域福祉・高齢者福祉・地域交流の拠点

となる複合施設で、介護サービスゾーンや地域交流ゾーンを設け、村が統括します。施設管理については、

介護サービス、地域交流、各々ゾーンに応じて、島内事業者・社会福祉協議会等への委託を検討している、今後細部を詰めることとです。

マンパワー不足が深刻で、今後は事業者との対話、人材就労促進事業の活用等、介護人材確保支援に努めることとです。



▲福祉施設の整備状況
式根島診療所の隣に開設予定



**新島村国民健康保険税の変更に
関する審議**

予算特別委員会、本会議での条例改正・予算の審議を経て、賛成多数で可決されました。

平成30年度の新制度の施行とともに、東京都も保険者となり、新島村の国民健康保険を担うことから、赤字を解消し健全な事業運営を迫られることとなります。東京都の示す標準税率に合わせるべく、複数年かけて税率の改正を進めていきます。この税率を上げるかどうかは毎年見直していく方針です。

反対意見

○綾とおる議員

国保加入者すべての世帯が耐えがたい値上げになる。現状と比較して、所得割では1.5倍に、均等割

では3倍近くもの値上げになる。資産割や平等割が廃止される2〜3年後からは、引き上げられる一方となる。子育て世代にとっては、こどもの数が増えるほど増額となる均等割が生活を圧迫する。高齢者や障害者・無職の人にとって

もこれ以上の引き上げは耐えがたい。払いたくても払えない人がでてくる。新島村としても国や東京都に対して支援策を求めいき、一般会計からの繰り入れをしていくべき。

賛成意見

○山本均議員

諸手を挙げて賛成ではないが、十分な社会保障のためには、それなりの受益者負担が必要。一般会計から繰り入れてもその元は村民税である。払いきれない場合は他のセーフティネット、最終的には生活

保護などがある。今の制度を維持するには適正。

○木村諭史議員

本人が支払う保険料以上に村が負担してくれている状況で、村の負担率が下がったという解釈。むしろ将来世代の負担になって不公平になるような公費投入は避けるべき。国保運営協議会内の討議においても、滞納に対する村の対応は適切かつ無理な徴収もないと理解。滞納が増えた場合にもすぐ察知できる指標を設けるよう要望中。子ども手当および、通院費用がかかりがちな高齢者に対する交通費補助もあり、総合的にフォロワーできていると考える。

○前田泉議員

長期的に国民健康保険制度を維持していくためには、自己責任、受益者負担の原則を貫いていく必要がある。

一般質問

前田寿夫議員



行政バスの運営について

問 行政バス・スクールバスの運営事業者は30年度で終わると聞いているが、その後はどのように事業を続けていくのか？

答 現事業者は31年3月31日をもって運営事業が終わりとなり、委

託業者の募集については12月に数回防災無線にて行った。

委託内容・方法は個人事業主と運転に従事する者で、大型免許取得者4名と普通免許取得者1名で業務にあたる予定である。当初予算に車両購入と運転業務の委託料を計上している。なお、事故責任については、村と受託者が連帯しその責めを負うものとする。



▲新しくなった「ふれあいバス」

山本均議員



村長はいかにして天下分け目の戦いに挑むのか？

問

村長の新年度予算に向けての施政方針演説があったが、多岐に亘る施策はわかりにくい。そこで、新島村で生きていくのに必要な仕事をいかに確保するか、この点に絞ってお訊きする。

答

農業・漁業は、水揚げ高・販売実績など年々減少している。将来の展望がみえてこないが、人材育成事業や各種の振興



▲食事処の不足が深刻化するなか、営業中の店舗はありがたい存在

策に取り組み、問題の解決に努める。水産加工業のくさやの製造販売店は10軒に満たないが、平成30年度に加工施設の大規模改修を実施した。この運営に期待している。

土木業は先の読めない状況であるが、村の経済対策を推進すべく、一般会計では普通建設事業10億円を超える予算を確保している。観光業は客足が伸びているが、宿の素泊まりが増えて、食事処の不足が問題となっている。

商工業者は年々減少しているが、商工会を通じ、経営改善普及事業やロケーションボックス事業などを支援をしている。光回線島内網の整備が済み、新たな島の産業としてIT事業者の法人設立等の事業を検討していく。

小久保利佳議員



島しょ地区から特別支援学校高等部へ進学する際の問題

し改善を申し入れ、島嶼地区の負担の実状を認識し個別に対応していくと回答をもらった。また、島嶼地区の状況を鑑み、引き取りに係る費用を就学奨励費として都が負担する予算措置を審議中。可決されれば31年度から運用される。そして島嶼教育長会としては、「寄宿舎の改善」

と、島内で支援教育が受けられるよう、「島嶼の高校への特別支援学校高等部の設置」の実現に向けて引き続き要望する。(教育長)



問

現在島嶼地区から必要な生徒の受入は、八王子盲学校寄宿舎の1校であるが、二週間に一度の帰宅が規則にあり負担が大きい。昨年寄宿舎制度の改善を要請した後の進展と、この問題について問う。

答

昨年八月に島嶼9町村教育長全員で盲学校寄宿舎を視察訪問



▲八王子盲学校の寄宿舎。島しょ地区から特別支援高等部に進学する生徒の寄宿先になる

綾とおる議員



村長の政治姿勢について

問

消費税10%引き上げについて、商店や村民生活、村の経済や行財政への影響から反対の態度を明確にすべき。国の悪政の防波堤になって、最低限村の使用料、手数料へ転嫁しないよう求める。

答

税の議論は大変難しい。私の立場で消費税引き上げに反対賛成とは申し上げないが、2%分が国民のため、福祉国家となるよう町村会な

どで協議が大切と考える。



医療・福祉行政の安定と充実をめざして

問

国保は他の医療保険より保険料が高く負担は限界。全国知事会、市長会、町村長会も国庫負担の増額要望を出している。市町村長会で国保の保険料負担率の引き下げを求め、イニシアチブを發揮すべき。

答

全国的に所得水準が低く、保険料が重いという国保事業は構造的な課題をかかえているが、国保運営委員会に諮り決定しており、国保税の引き下げは考えていない。

問

島外医療機関受診の際の交通費等の助成について、年齢制限は

福祉行政に新たな差別を生むものであり、19歳〜64歳の住民を助成対象にして、全村民対象とする。付き添い者も助成対象にし、村民の喜ぶ顔がすべての住民に広がるよう、制度の早期改善を求める。

答

現行制度の変更はまだ考えていない。

来年度以降、より良い制度となるよう検討したい。財源確保に向け島嶼の町村と要望活動を行う。

問

都立広尾病院は島しょ島民の命綱であり、村長自ら都立広尾病院の存続を求める立場を明確にすべき。島しょ患者付き添い用の宿舎「さくら寮」改築中の宿舎の確保と改築後の拡充を求め都に要望を。

答

島にくらす私たちにこれ以上の負担

を強いる改革とならないよう、島しょ町村一体となり、都立病院との関係の再構築、さくら寮の今後の継続と拡充について、島嶼町村会を通じて東京都と協議していく。



子育て教育環境の向上について

問

児童、生徒の教育環境改善と、災害時の避難所の緊急性から、村内小中学校体育館に都の補助制度を活用し空調設備の早期設置を求める。

答

児童、生徒の熱中症対策、議員ご指摘のように有事の際の避難所としての活用からも、平成31年度中に補正予算で設計委託、平成32年度に工事実施予定。本工事をもって、管内小中学校の校舎、体育館の冷暖房化をすべ

て完了することになる。

問

式根島に勤労福祉会館と同等の、放課後の児童や幼児の利用できる施設を。

答

現在計画はありませんが、総合開発センターなどの既存の施設の利用、式根島福祉拠点施設の活用をしていただきたい。

問

式根島に図書館を。

答

図書館の計画はありませんが、現在ホームページのオンラインサービスでの図書検索から支所経由で貸出、返却が行えます。式根島中学校で毎週金曜日に図書室の開放と本の貸し出しの利用ができる。

観光施策の充実・強化について

問

地鉾温泉の落石防止など安全対策を求める。

答

地鉾温泉の落石防止工事の計画は、平成31年度再度工事着工の予定。工事の計画概要について、1年目は左側斜面モルタル吹付、落石防護ネットの工事予定、2年目に右側斜面の工事予定。



工事に伴い、通路が危険となることから、約半年間立ち入り禁止となる。平成31年度工事の契約完了後、おおよそ8月ごろに地鉾温泉立ち入り禁止のお知らせ、住民周知の予定。

▲地鉾温泉に向かう階段。秋より崩落防止工事始まる

問

2020・オリ・パラやバリアフリー時代を迎え、京都で実施したアンケートでもトイレの整備を求める回答が1位でした。豊かな自然環境を生かしてさらなる観光産業の振興を図る新島村の課題が明白。島の玄関口の野伏港船客待合所トイレの全面改修は急務。都港湾局に要請してきたが、経過と見通しを。

答

管理者である東京都に照会したところ、平成31年度中に全面改修工事を実施する旨回答があった。

問

民宿などへのトイレリフォームなどへの支援策について見解を求める。

答

民宿のトイレリフォームなどへの村

のメニューはない。商工会が相談窓口、東京観光財団が行う、インフラ整備支援事業を活用し、民宿、飲食店などがリフォームを行い、現在まで約20件あまりが利用している。

前田泉議員



財政運営について

問

交付税、交付金共に1%台の伸びの中、一般、特別会計共に2桁超の減少である。大型事業終了、自主財源1割未達の緊縮財政は理解するも、今後

も年度毎増減は大きい。また、基金や地方債の内訳をお示し願いたい。

答

一般・特別会計の予算規模は、29年度67.4億、30年度68.9億、31年度61.2億円。前年度実質公債費比率7.3%と堅調。基金積立金は24.1億、地方債は26.7億円。起債残高の88.7%は交付税算入率の高い事業債で、将来負担比率も健全数値。施設の老朽化対応、災害対策他、未着手の大型事業も多いため、今後も年度毎予算に大幅の増減が見込まれる。

全体の奉仕者意識徹底について

問

研修所研修を否定するものではないが、重要なのは、職場内研修、指導、注意である。住

民の批判や不満の大半は、仕事の優劣よりも、住民と接する姿勢、対応や態度である。「全体の奉仕者としての意識」は、職員に浸透徹底しているか。

答

公務員の究極の使用者は国民。当村職員においても、住民の信用を失墜させないよう、公務

空き家対策について

員としての自覚再確認を周知徹底する。専門研修で知識を高め、職場内で、都度指導注意を強化し、住民サービス向上を図る。

問

空き家の劣化防止、移住者誘致策から



▲式根島の閑居

帰島時に使う予定があっても、日常の維持管理も重要である

考えスピード化は喫緊の課題。相手のあることとは言え、進度遅い。マンパワーは足りているか、人員の投入必要ないか。

答

危険家屋の整理、利活用希望所有者との調整等、法も絡めた交渉は煩瑣で、時間を要す。空き家対策協議会との協議を続けながら、地道に着実に進める。時代の趨勢とともに、業務は多様化し、事務量は増大している。他部署との調整を図りつつ、企画調整室の増強を検討。



地域防災計画について

問

防災組織整備を急ぐが、すわ災害時の自治会主力構成員は、消防団員役場職員を除くものとなり、責任面から、担い手がいな

い、機能しない等の問題が生じる。

答

自主防災組織は、住民が自主的に立ち上げる組織であり、そこに義務や責任は発生しない。災害時の要援護希望者は、現時点で187名おり、不安を感じている方は少ない。自治会役員に十分説明を行った上で進めるので、理解・協力を得たい。



産業振興・観光PRについて

問

施政方針には東京オリンピックを控え、訪日外国人が3千万人を超えるると予測され（中略）、東京の島をPRとあるが、新島サーフィン競技消えた今、訪日外国人旅行者の来島を見込めるか。どの程度を見込んでいるか。

答

外国人客がどのくらい見込めるか予測できぬも、夏期シーズンでもあり、例年比増を考えている。外国人客のみで無く、日本の方々にも「東京の島」の存在を知らしめるべく、東京諸島観光連盟とも協調して発信する。



道路整備について

問

式根島小学校から、役場支所を経由して奥山商店に至る村道の劣化がひどく、凹凸が激しい。特に小学校前から保育園に掛けては、夜間の自転車走行などは危険。早急な補修が必要。

答

指摘通り、同道路については舗装老朽著しく、30年度に改修設計委託済み。ただし、下水

道管敷設工事に合わせ実施するため、本道路の改修は35年度実施となる。その間は部分的補修で対応。尚、自転車等の安全通行に支障あると指摘あった区間は、簡易アスファルトで先週末補修済み。



▲式根島小学校・保育園前の道路補修工事後



▲式根島野伏漁港船客待合所および同施設内トイレ



式根島野伏漁港
船客待合所工事
について

問

建替え工事は、令和2年以降実施見込みとのことだが、早ければ令和2年との解釈で良いか。
そうで無ければ、何年頃の見通しなのか、早急に都と詰めて周知願いたい。

答

大島支庁新島出張所経由で、都港湾局に確認。「早くて令和2年度」との回答で、都においても、現時点それ以上の予定は確定していないとのこと。(後口裏情報では、東京五輪を控え工事原材料、人件費が急騰、これが主原因と)

問

各課からの事業を集めていく考えではなく、新島村全体としての大局像(ビジョンマップ)と道筋(ロードマップ)を描き、村長ならではの旗を掲げてから各事業を落とし込むのはいかがか?
一例として、商工会によるロケーションボックス事業で受け入れたテレビアニメのロケ地巡礼キャンペーンを観光協会が企画する、などの連動が見ら



大局像と道筋を
掲げた地域振興
を!

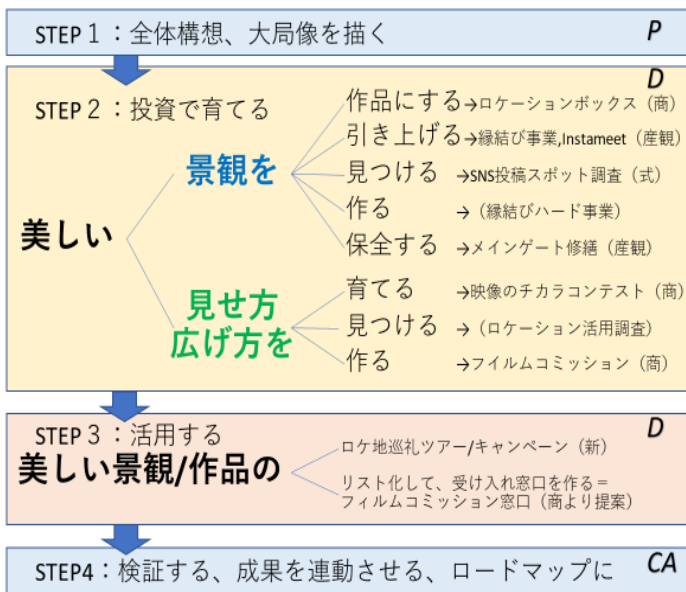


木村諭史議員

れている(補足:産業観光課によるアニメロケ地マップも3月末に完成)。
大局像と道筋を共有できれば、①投資型と収益型事業の関連と進捗が理解しやすい。②事業の相乗効果が期待できる。③効率的予算配分ができる。といった利点がある。

答

村、観光協会及び商工会等の協力体制の在り方や住み分けが重要な時期にきている。将来の観光像を描いた上で、個々の施策や実施内容、役割分担を詰めてゆく。夏前までに産業連携会議の中で実施したい。



▲ビジョンマップ作成のために、関連する事業を整理した図 (木村作成)

委員会より

総務常任委員会

議

会改革を大前提に、前期からの議員定数削減の是非を継続議論して深め、途中経過を含めて議事を公開していきたいと思えます。特に今期は、「町村議会議員の議員報

酬等のあり方 最終報告」を全議員で読み込み、具体的に議論していきます。

大

まかな方向性を2年ほどで出し、4年後の村議会議員選挙やその後の新体制に反映できるように流れを意識しています。

※現在までの流れ

- ① 自治体の人口あたりの議員人数をグラフ化して議論。

- ② 議員定数削減の長所短所を表にして整理。

- ③ 昨年度の夜間・休日議会の視察や、今年度の住民参加型の地域づくりの視察内容を議員のなり手不足対策として活かす。

- ④ 議員の仕事はどのようにあるべきか見える化していく。

港湾特別委員会

島

の生活基盤となる港湾の静穏域等の諸問題を早期実現するために、国・東京都に強力に要望活動を展開していきます。

直近では、若郷の消波ブロックの整備について検討しています。

経済常任委員会

経

済常任委員会では、島の経済基盤となりうる観光をとりあげて、いまだ先が見いだせない状態が続いている振興について、再度掘り起こして10年・20年先の新島の観光の在り方を広くとりまとめて、行政に提言書を出します。自ら現場に向いて、関係団体と協議することも検討していきます。

広報編集委員会

全

ページのフルカラー化と、より早い発行と、経費削減を両立させるべく改革を始めました。委員会も新体制となり、議員自らパソコンで編集作業しながら会議するなどの工夫もしています。島内のサポーターを交えた編集・校正体制で、今後とも議会だよりを改善していきます。

委員会ってなに？

本会議とは別に、新島村では議員全員が参加する総務常任委員会と経済常任委員会の二つの常任委員会があります。議員数が多い議会では、議員はいずれかの常任委員会に所属することが多く、有識者の意見では、きめ細かい審議のため、最低6人の委員が必要とのことです。

本会議だけでなく、事前に委員会でじっくりと審議し、本会議で再度審議・承認するという二段階の審議を行っています。

他に、予算特別委員会（3月定例会）、決算特別委員会（9月定例会）、港湾空港等整備促進特別委員会などもあります。

議会に行こう！議会を見よう！

今回は簡単に議会中継を見る方法をご紹介します！

- ① スマートフォンのQRコードリーダー（カメラ機能）で右側の画像を読み込むだけ！
- ② インターネットで「新島村議会 中継」で検索！



議長の アイ 目 ランド

**今回は「にいじま漁業
協同組合平成31年度通
常総会」での挨拶から
お送りします**

伊豆諸島ブームが続いた昭和50年代から平成10年位までは観光を中心に輝き続けた新島・式根島でしたが、現在は各産業とも元気をなくし、平成元年に3700人居た人口も、今年の1月には2700人程に激減しています。村は国や東京都の支援を受けながら地方創生に力を入れ、光ファイバーに

よる高度情報通信網の整備や飛行機運賃の補助等住民が住み易い島作りの戦略を進めています。少子高齢化による人口減少に歯止めがかかりません。特に新島の中心産業であつた漁業においては、少子高齢化の波をまともに受け、後継者不足から、専業漁師が大幅に減少し、水揚げ高も2億円そこそことなり、漁協経営が危機的な状況になっているような気がします。

四方を広大な太平洋に囲まれた新島・式根島の基

幹産業である漁業を、衰退させるわけにはいきません。皆で知恵を出しあつて、後継者が育つ漁業環境に改善していかなければなりません。5月には元号が改元されますし、来年は世紀の大イベント東京オリンピック・パラリンピックも開催されます。

村の活性化は勿論ですが、それぞれの産業の活性化を図る絶好の機会でもあります。

本日提案された、平成31年度事業計画(案)を見させていただきましたが、事業は昨年とほとんど一緒で、組合経営を改善するための新しい事業がなにも出てきません。

漁師それぞれが組合経営に責任を持たなければいけないことは勿論ですが、組合は漁師、一人一人が安心して生活が営めるような、事業を展開してい

かなければ、新規漁業者は生まれてこないし、漁師専従者も減少するのではないでしょうか？

何代か前の村長が、毎年この総会の席で、口開け口止めの問題、イセエビの密漁、新鮮な魚の地元消費等いろいろな改善策を提案されていますが少しも実現されていません。

同時に、本日の総会の出席者の少なさに、「これが新島の主要産業である漁協の総会か」と、漁師の関心の低さを残念にも思い

ます。

新島村の漁業に活力を与え、住み易い新島村を実現するために漁師の皆様方の奮起を期待します。

新島村議会は、皆様方と一緒に新島村の漁業の活性化に努力することを誓い申し上げます。

新島村議会議長
前田邦弘

平成31年3月25日



▲4月17日わかごう漁協における活魚運搬システム「魚活ボックス」のデモンストレーション。二酸化炭素を溶け込ませ調整された海水に魚を入れ、睡眠状態にして輸送することで、輸送コストを大幅に削減でき新鮮なまま出荷することができる。今後の販路開拓に期待

みんなの広場

スピーカーズコーナー 



須貝紀代さんの
プロフィール

新島出身。昭和17年生まれ。准看護婦として3年間病院勤務。青山学院大英米文学部二部卒業。中学校の英語教師として勤務。現在は観光ガイドのボランティアとして活動中。

スピーカーズのコーナーは本村在住の須貝紀代さんにお話を伺いました。

小久保 須貝さんは、議会だよりをよく読んでくださっていると同じでしたが、どのように感じていますか？

須貝 活字が大好きなので、議会だよりも村からの印刷物もすみずみまでずっと読んでいます。活字を読まない人がほとんどなので、もっと読んでほしいと思います。読むと工夫されていることがわかりますよ。議会だよりも、字を大きくしたり、写真をたくさん使ったりがんばっていますね。

小久保 今回からカラーにした、村民のみなさんに読んでいただけるといいなと思っていました。

小久保 なるほど！「足で書く」ですね！早速今回はインタビューという形をとらせていただきました。今後も議会だよりをよりわかりやすくしていきたいと思っています。

須貝 私は村内をよく歩くので、歩くといろんなものがよく見えますよ。村内の危ないところなんかね。議員さんにも車だけでなく村内をよく歩いて見てほしいですね！議会だよりも体を動かして足で書いてほしいと思います。

小久保 ありがとうございます。

これからもし意見を聞かせてください。議会だよりだけでなく、議会に対する要望はありますか？

お詫びと訂正

前号(第87号)の『コーガ石のある風景⑤』の一部内容に誤りがありましたので、お詫びして、訂正いたします。

「ガンバルジャン」の店名の由来には小説の主人公の名前は一切関係なく、字義のとおり“がんばろう”を語呂よく親しみやすいものにしたということです(関係者の弁)。

以上のとおりでご理解いただき、関係者および読者のみなさまには大変ご迷惑をおかけしたことを重ねてお詫び申し上げます。



病気療養中の
前田卓秀議員から
村民のみなさまへ

「大変ご迷惑をおかけしています。7月いっぱいリハビリを頑張つて、9月から復帰する予定でいます！」

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

このたび広報委員長になりました小久保利佳です。

議会だよりの編集をさせて頂くことになり、広報委員の担当議員と先輩議員の皆様にご協力いただきながら頑張っております。村民の皆様には議会をわかりやすくご理解いただくために、議会だよりを少しずつより良いものにしていきたいと思っております。

今回はその手始めとしてオーラルカラーの議会だよりにしてみました。今後も少しずつ工夫して議会を身近に感じて頂けるようにしたいので、村民の皆様のご意見がありましたらぜひお聞かせください。